

2010年度 安全報告書



仙 台 空 港 鉄 道 株 式 会 社

利用者の皆様へ

日ごろ、仙台空港アクセス鉄道をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。
また、皆さまのご支援、ご協力により事故もなく、無事開業3周年を迎えることができましたことに厚く感謝申し上げます。

この1年間を振り返りますと、平成22年2月27日に南米チリで発生したマグニチュード8.6の地震の影響により、2月28日宮城県沿岸に大津波警報が発令され、当社としては初めて大津波警報発令に伴う輸送影響を経験いたしました。

この対応におきましては、区間運休を含め47本の列車が運休となりましたが、お客さま救済のため、上下14本の列車を名取駅・美田園駅間で折返し運転を行うとともに、名取駅及び美田園駅と仙台空港駅間でバスによる代行輸送を実施させていただきました。

当社といたしましては、今回の経験は、鉄道経営を行っていく上で大きな教訓となるものであり、お客さまに安心してご利用いただけるよう、発生が予想される宮城県沖地震を始め、あらゆる災害時の対応に活かしてまいりたいと考えております。

今後とも、安全を最優先し、お客さまに安心してご利用いただくことを目標に掲げ、「安全・安心」を当社のトップブランドとして認めていただける会社を目指してまいります。

この報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、仙台空港アクセス鉄道における輸送の安全確保のための取り組みをまとめたものであり、当社をご利用のお客さま及び沿線の皆さまにご理解いただくために作成したものです。

今後の安全確保の取り組みを一層充実させるために、皆さまの貴重なご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

仙台空港鉄道株式会社
代表取締役社長

齋藤進

安全に関する基本方針と目標

安全基本方針

安全で安定した輸送を継続して提供し、お客さまに安心して快適にご利用いただけるよう、全社員が「安全基本方針」七ヶ条を遵守し事業に取り組みます。

安全基本方針

- 一． 一致協力して輸送の安全に努めます。
- 二． 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 三． 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- 四． 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- 五． 事故・災害が発生したときには、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- 六． 情報は漏れなく正確に伝え、透明性を確保します。
- 七． 常に問題意識を持ち、必要な改革に果敢に挑戦します。

2010年度安全目標

私たちは、安全を経営の最重要課題に据え、経営トップを含め、会社全体の安全管理体制を構築し、常に安全の確保を推進します。

当社では、2007年度から5年間「お客さま、社員の死傷事故“0”」と「重大事故“0”」を目標としており、2010年度もこの達成を目指します。

お客さまに不安を与えず、安全で安心な輸送を提供します

お客さま、社員の死傷事故“0”を目指します。



重大事故の発生を5年間“0”とします。

重大事故とは列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、鉄道人身障害事故等をいう。

鉄道運転事故等の発生状況

鉄道運転事故等の発生状況は、以下のとおりであり、今後とも、お客さまに安全、安心な運行を提供できるよう、取り組んでまいります。

年度 項目	2006	2007	2008	2009	備考
死傷事故	0	0	0	0	
重大事故	0	0	0	0	
鉄道運転事故	0	0	0	0	
インシデント	0	0	0	0	(事故の兆候)
行政指導	0	0	0	0	

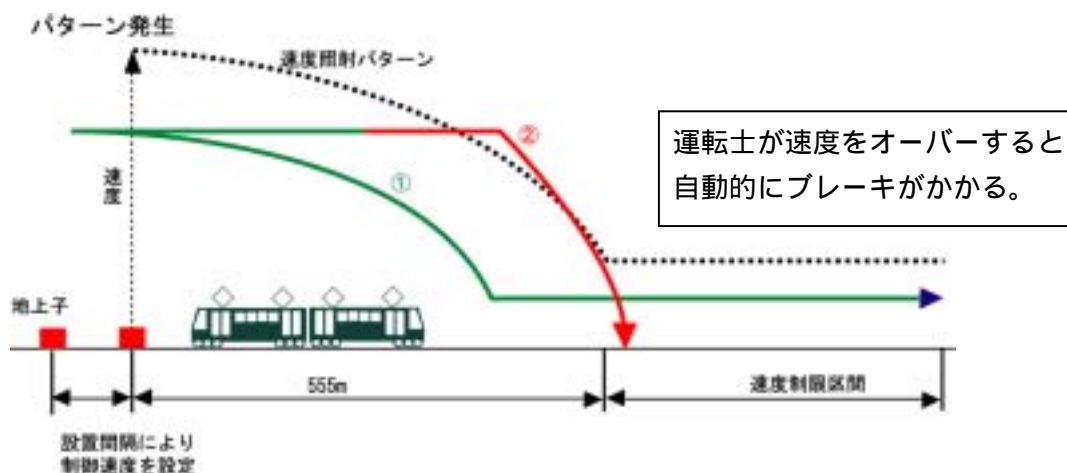
安全確保のための取り組み

安全重点施策

事故を防止し、輸送の安全を確保するため、鉄道建設から安全設備を積極的に取り入れてきました。今後も引き続きこれらを推進してまいります。

走行中の列車の安全確保

列車の衝突を防止するため、全区間に自動列車停止装置（ATS）を設置しています。ATSは、速度超過となった際に自動的に電車を止めて安全を保つシステムとなっており、速度制限区間だけでなく、急な曲線や勾配にも設置し、より安全性を高めています。



駅ホームの安全確保

ホームからの転落事故に対する安全対策として、列車非常停止警報装置（非常通報押しボタン）を全駅のホームに設置しており、また、車両連結部の隙間から線路への転落を防止するための車両間転落防止装置も全車両に設置しています。



列車非常停止警報装置



車両間転落防止装置

健康状況の把握とアルコール検知器の使用

安全・安心な運行を継続する上で、社員の健康状況の確認は重要であり、出社時又は点呼時に日々確認を行っております。また、公共交通機関に従事する者として、飲酒運転等は、お客さまや社会に多大なご迷惑をおかけいたしますことから、運転士に対し、アルコール検知器により酒気を帯びていないことを確認した上で乗務を開始させています。

基本動作とルールの徹底

社員に対し、常に基本動作とルールの徹底の意識を保持させるため、「指差し確認、声出し確認」等の訓練を定期的に行うとともに、運転士については、繁忙期等機会あるごとに指導運転士等が添乗指導を実施しました。

緊急地震速報を活用した通報システムの導入

宮城県沖地震に備え、緊急地震速報を活用することにより列車の安全運行の規定値を大きく超え、災害の発生が予想されると判定された場合、変電所からの送電を遮断し、列車を迅速に停止させるシステムを導入しました。



・安全の教育及び訓練、啓発活動

安全教育

安全教育については、全鉄道係員を対象に行っています。また、模擬運転台による運転士基本動作や踏切事故を想定した対応訓練など鉄道係員に対する各種教育を行っています。



模擬運転台訓練装置

訓練

当社としては、平成20年度において、当社線内の駅間で車両故障により運行できなくなった列車へ、救援列車を運行し、最寄り駅に収容する対応訓練や線路の破断が確認された際の対応として、レールボンドにより破断部分を補強し、列車の安全な運行を確保する応急処置等の大規模訓練を実施しております。

平成21年度におきましては、宮城県沖を震源とする地震が発生した場合に速やかに対応できるようJR東日本の仙台総合訓練センターで開催された「JR仙台地区総合復旧訓練」に参加し、定期的な訓練を実施しております。

今後とも、JR東日本と合同で脱線などの大規模な事故を想定した訓練を計画し、不測の事態に全社員が対応できるように備えていきます。



踏切事故防止キャンペーンへの参加による啓発活動

当社線は、線路のほとんどが高架式となっていることから踏切はございませんが、開業以来、JR東日本等で春と秋に開催される「踏切事故防止キャンペーン」に社員を参加させ、踏切事故防止の啓発活動に参画しています。



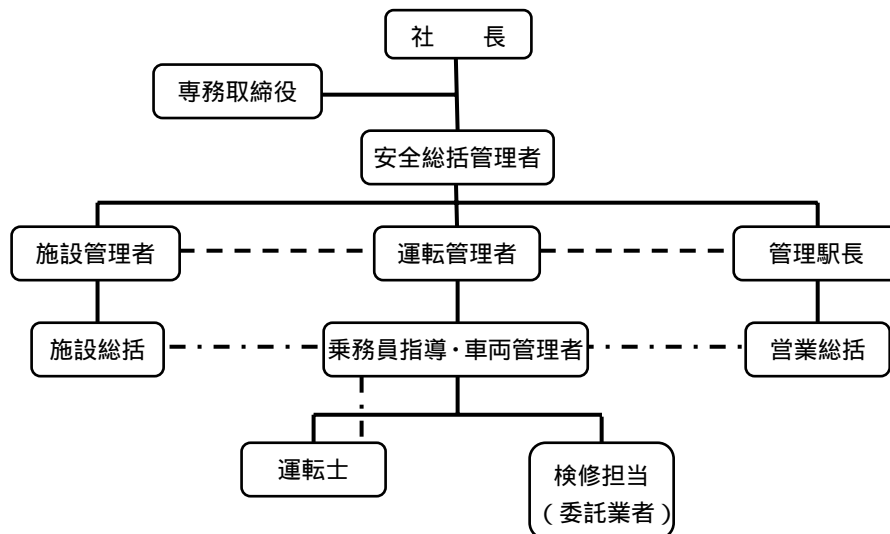
安全管理体制

2006年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとした安全管理体制を構築し、「安全統括管理者」「運転管理者」「施設管理者」「乗務員指導・車両管理者」はそれぞれの責務・権限を明確にし、安全確保のための役割を遂行しています。

社長及び各管理者の役割

社 長	輸送の安全の確保に関する最終責任者
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

体制図



安全に関する会議

本社内に社長、各部長、各課長で構成する「安全委員会」を設置し、各現業機関から事故等の報告を受け、再発防止対策を含めた安全対策を検討するとともに、他山の石を活用して事故の芽や要注意作業を洗いだし、事故の未然防止に反映します。

ヒヤリ・ハット報告制度

現場社員に日々の業務において「ヒヤリ」としたこと、「ハット」したことを報告させ、その情報をもとに状況分析し、要注意作業、時間帯、箇所等をチェックし、全社員に共有させるとともに「安全委員会」で安全対策の検討を行います。

社長、役員・安全総括管理者による現場巡回

社長をはじめとして役員、安全管理者が、夏季や年末年始などの多客期、テロ防止対策強化期間等機会あるごとに積極的に現場に入り巡回点検するとともに、現場第一線の社員と意見交換を行い、安全の管理状況を確認しております。



災害時対応

平成22年2月27日に南米チリで発生したマグニチュード8.6の地震の影響で2月28日午前9時34分宮城県沿岸に大津波警報が発令されたので、同日10時社長を本部長とする災害対策本部を当社運輸管理所に設置しました。

その後、気象庁からの「津波第一波到着予想時分は13時30分」の発表を受け、本部長の指示のもと、まず、13時から最終列車まで区間運休を含め上下47本を運休し、お客様救済のため、上下14本の列車をJR名取駅から美田園駅間で折返し運転を行うとともにJR名取駅及び美田園駅から仙台空港駅間でバスによる代行輸送を実施しました。

翌3月1日には津波警報から津波注意報への切り替えを受け、始発列車から通常運行となりましたが、この間、お客さまに多大なご迷惑をおかけいたしましたことから、今回の対応を教訓といたしまして、懸念されている宮城県沖地震を始め、自然災害における適切かつ迅速な対応に努めてまいりたいと考えております。

お客さまとの連携

「こども110番の駅」の取組み

地域の皆さまにより一層安心してご利用いただける駅を目指し、全駅を「こども110番の駅」に指定し、ステッカーを見てこどもが助けを求めてきた場合、こどもを保護しこどもに代わって110番通報などを行います。



・「AED」の設置

お客さまに駅を安心してご利用いただける取組みとして、お客さまが万が一の場合に備え、仙台空港アクセス線全駅の改札口付近にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。駅社員についてはAEDの使用訓練やその他救命訓練を行っています。



AEDとは
心臓の拍動が突然正常なリズムを失い、全身に血液を送り出せない状況に陥ったときに、心臓に電気ショックを与えて正常なリズムを取り戻すための医療機器です。

・お客さまへのお願い

- ・ 各車両には、異常を乗務員に知らせるための「非常通報装置」が設置されておりますので、具合を悪くされたお客さまがおられた場合や犯罪行為、不審物を発見した際には、押して運転士にお知らせください。



非常警報装置

- ・ 駆け込み乗車は、大変危険ですのでおやめください。列車の通常運行に支障を来すだけでなく、お客さまの思いがけない事故につながるおそれがありますので、ご協力をお願い申し上げます。

ご意見・ご要望は下記までお寄せ下さい

【仙台空港株式会社】

〒981-1227

宮城県名取市杜せきのした5丁目34番地

電話 022-383-0150 FAX 022-383-0152